

中部国際空港

【実施主体：個社】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ</p>	<p>（継続取組）インフレ等に基づく価格改定の実施</p>	<p>従来より、必要人員、GSE等に基づく受託金額を設定。昨今のインフレ状況等を勘案した算出基礎単価の改定を実施し、それに基づく新規受託価格の見直しや価格改定を実施。</p>	
	<p>外航受託料の引き上げ</p>	<p>本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。</p>	
	<p>自社グループ空港運営会社への委託料の引き上げ</p>	<p>本社にて、自社グループ空港運営会社の処遇改善の原資として委託料の引き上げを実施。 R6年度の委託料金引き上げを調整中。</p>	
	<p>検査会社への委託料の見直し</p>	<p>本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。</p>	
<p>【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）</p>	<p>外航受託契約条件の見直し</p>	<p>本社にて、最低保証条項の導入検討に着手。</p>	
	<p>検査会社への委託契約条件の設定</p>	<p>検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。</p>	
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	<p>女性用更衣室の確保</p>	<p>空港会社の共用更衣室を借りている。</p>	
	<p>新造車両へのB737用脚立の搭載</p>	<p>女性でも使用できるB737用の脚立が搭載されている給油車が2台しかないため、新造車両に現状の脚立（90cm）より20cm高く取り降ろしが容易な構造の脚立（110cm）を搭載し、車両台数を増やす予定。</p>	<p>女性でも容易に取り回しが出来るようになり作業効率化が上がり、採用の幅も広がる。</p>
	<p>給油車両の入れ替え</p>	<p>国際線の復便が増加している中、2007年製給油車両2台を24年1月頃及び25年1月頃にタイミングを計って入れ替える予定。</p>	
	<p>連絡車両の入れ替え</p>	<p>経年劣化が進んでいる連絡車両2台を25年1月頃及び26年1月頃に入れ替える予定。</p>	<p>老朽化による修理代加算等、無駄な経費削減に繋がる。</p>

【実施主体：個社】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進</p>	職場環境の改善	グランドサービス部スタッフ待機室のレイアウト変更（待機スペースの改善）、貨物上屋スタッフへの空調服、上屋内環境改善（夏季期間、空調ファンなどの設置）など。	
	処遇の改善	R5年度ベースアップ、初任給アップ、公休数増を実施。	
	飲食に関する福利厚生施策	自販機の更新	
	オフィス環境の改善	オフィス内の什器（机、椅子）入替え及びレイアウトの変更を行い、作業効率の向上に繋げる。	作業動線など含め、効率的な作業環境向上に寄与。
	事務所環境改善（LED化） 休憩室の改修 待機室の改修	旅客サービス部の事務所照度向上 休憩室内什器類、備品類の更新 待機スペースのレイアウト変更	
<p>【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握</p>	生産量ならびに生産対応状況の把握	生産対応状況を毎月把握。	
	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、自社グループ空港運営会社の生産対応状況を毎月把握。	
	生産対応状況の確認	受託航空会社の旅客、ランプ取扱い便数と輸入・輸出貨物の取扱い重量実績にて、生産対応状況を毎月把握。	
<p>【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制</p>	人員に見合う業務量の抑制	個々の身体的負担軽減と就労時間の平準化を図るため、業務量と人員が見合わない部署には、他部署の職員を応援に出し、特定部署の負担軽減を図る取組を実施	
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	月2回の入社・入社研修実施	当社トレーニングセンターでの初期研修を月2回実施することで、採用機会を月1度から2度へ拡大し、採用可能人員数を増加	
	マイナビ転職サイトに事業所や給油作業の撮影を依頼	給油作業及び事業所の雰囲気が分かる写真を撮影し、マイナビ転職サイトへ掲載した。	

【実施主体：個社】

中部国際空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<p>合同企業説明会への参加</p>	<p>会場へ自社のブースを設置し、説明会参加者への企業内容の説明を行った。 自社ブース訪問者（11名）</p>	
	<p>オンラインでの企業説明会実施</p>	<p>参加者は1名のみだったが、給油作業風景の紹介も含めた企業説明を行った。</p>	
	<p>航空機給油業務のアピール動画やインタビュー動画作成</p>	<p>制作会社へ依頼し、航空機給油業務のアピール並びに所長・所員のインタビュー動画撮影及び企業説明会や会社HP、Youtube、TikTok用に複数パターン動画を作成する。</p>	<p>企業説明会等で給油会社のブースに集まる参加者の増加が見込まれる。また、Youtube、TikTokなどに掲載することで、航空機給油の認知度アップに繋がる。</p>
	<p>既卒採用の実施</p>	<p>経験者採用の実施。</p>	<p>R5年度既卒採用予定数：43名 （今後採用予定分含む）</p>
	<p>採用活動の強化</p>	<p>グラハン部門への指定校推薦、インターン制度の導入</p>	<p>グラハン部門指定校：4大学新規設定、グラハン部門へのインターン、3校から各2名、計6名名実施予定（9月）</p>
	<p>ワークプレイス制度の実施</p>	<p>自社グループとしてリテンションを図るべく、働く場所の事情に応じたグループ内転籍制度の運用を実施。</p>	<p>R5.4以降 20名程度応募あり（グループ全体）</p>
	<p>中途採用実施</p>	<p>6・7月に中途採用入社</p>	
	<p>既卒、第2新卒採用の実施</p>	<p>経験者、他業種などからの採用の実施</p>	<p>R5.10月入社～R6.2月入社：計45名採用</p>
	<p>カムバック採用の導入</p>	<p>R6.4入社分から実施</p>	<p>R6.4入社 1名予定</p>

【実施主体：個社】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）</p>	<p>専門学校との関係強化（推薦制度）</p>	<p>専門学校と推薦制度を設けて人材確保</p>	
	<p>SNSなどの活用</p>	<p>仕事の内容等をインスタなどでライブ配信</p>	
<p>【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）</p>	<p>係員の訓練時間の適正化</p>	<p>本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。</p>	
	<p>技能別での集中型初期導入研修の実施</p>	<p>旅客、ランプの技能別での集中型の初期導入研修を本社主導で開催（これまでは各支店で個別に対応）</p>	<p>初期スキル研修を集約化することによる各支店での研修担当、スキルホルダーの負担軽減</p>
	<p>座学教育を2部制</p>	<p>旅客サービス部の座学教育を日勤時間ではなく、早番、遅番の2部制にすることで訓練端末の稼働率を上げ、採用人数を増</p>	
	<p>他空港での資格取得</p>	<p>自空港では取得に時間を要す資格等について、就航便数の多い空港で短期集中で社内資格を取得</p>	
<p>【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入</p>			
<p>【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備</p>	<p>グループ内異動の公募の実施</p>	<p>空港横断的な配置によるキャリア形成を支援すべく、空港部門内でのグループ会社間異動の公募を実施。</p>	
	<p>人財ポートフォリオの見直し 教育体系の見直し</p>	<p>2030年までを理想とする、経営戦略と連動した中長期的な人事戦略の軸として活用することで、人的資本(企業価値)の最大化に繋げる</p>	

【実施主体：個社】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進</p>	<p>女性社員でも活躍できる職場環境の整備</p>	<p>女性でも使用できるB737用の脚立が搭載されている給油車が2台しかないため、新造車両に現状の脚立（90cm）より20cm高く取り降ろしが容易な構造の脚立（110cm）を搭載し、車両台数を増やす予定。</p>	<p>2024年7月 9台中/4台に搭載予定。</p>
	<p>デジタル化の推進</p>	<p>社内情報共有の迅速化や情報伝達方法の共通化などを目的に、まずはグループウェアを導入予定</p>	
	<p>施設・設備の改善</p>	<p>休憩室の改善を実施。</p>	<p>上記以外の休憩室などを検討</p>
	<p>貸与品の改善</p>	<p>より快適な制服（ポロシャツ）やヘルメット、タブレット使用も可能な高機能手袋の購入。 個人のニーズを踏まえた貸与ルールへの改善。</p>	<p>R6年度より配備予定</p>
	<p>自動化・省人化の推進</p>	<p>開発中の自動着脱旅客搭乗橋、自動運転トーイングトラクター、自動着脱ハイリフトローダーの実証実験を実施中。既製品の省人省力機材の導入を加速。</p>	<p>NGO関係：Mototok、Powerstowの配備</p>
<p>【中期】 特定技能制度の積極的な活用</p>		<p>公休増、有休取得増を前提とした生産計画を実施。</p>	<p>R6年度より公休数を6日増（年間公休116日）</p>

【実施主体：空港会社等】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善	PBB自動運転化	国内線一部スポットのPBB自動運転化に向けて調整中	
	制限区域内従業員向け休憩室の設置	制限区域内に従業員向けの休憩室が無く、ターミナル1,2それぞれに休憩室を設置	
	運転訓練場の使用推進	制限区域内で車両を運転するにあたり、特殊車両も数多く存在するが、その訓練をする場所を提供	
	e-ラーニングの使用推進	制限区域内での運転承認を受ける者に対する運転講習で、いつ・どこでも受講が可能になるよう、e-ラーニングを使用	
	グラハン各社従業員へのアンケート調査	グラハン各社従業員へのアンケート調査を実施、業務量等の現状把握をし、高負荷の部分があれば業務の効率化に資する施策を検討予定	
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動	合同採用説明会の開催	空港WGにて合同採用説明会を計画、空港内事業者10数社と連携し、空港業務の紹介を中心とした合同採用説明会を開催	
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修	自社オペレーションセンターでの研修	自社オペレーションセンターにて、場面管理・灯火・無線・保安・警備・防災など、空港運用に関するマルチタスクを担うことができるよう、随時研修を実施	
【短期】 空港WGの活用推進	関係機関や団体への情報発信	運航便の受け入れに資する情報発信・共有、運航便の受け入れに関する連絡調整、グラハン関係に関する中部空港事務所と連携した情報発信、各種補助金等の申請など	
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進	一部GSEの共用化	ターミナル2ステップ車やPBL車は共用化を実施済	

【実施主体：空港会社等】

中部国際空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等）	和式トイレの改善	制限区域内には和式トイレが残っている場所があり、まずは女性トイレより洋式への変更を実施	

【実施主体：地方自治体】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>	<p>関係団体への情報発信</p>	<p>労働部局が行っている雇用施策についての情報を空港会社を通じ各事業者へ展開。</p>	
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>関係団体との情報共有等</p>	<p>労働部局への雇用対策協力依頼を実施。</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>		<p>中部国際空港利用促進協議会における、空港受入体制整備に係る取組を実施。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>関係団体への情報発信</p>	<p>雇用施策についての情報を空港WGを通じ各事業者へ展開。</p>	
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）</p>			
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>空港会社等への協力・連携</p>	<p>説明会等への協力・参画（空港見学の実施、空の日を通じたPR等）</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>ありがとうポスターの普及</p>	<p>空港業務に従事する方が『この仕事に意味がある』と実感できるよう、ポスターを作成し、中間とりまとめの公表に合わせ所内職員に対して周知を徹底。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>補助金制度の利用促進と要員雇用確保の促進等</p>	<p>WGにおいて、空港会社と連携して、補助金制度の情報提供と同制度の利用促進と要員雇用確保の促進に取り組んだ。併せて、空港関係事業者が参加する他の会議体においても、中部空港における重要な課題として共有するとともに、課題解決に向け補助金制度の利用促進と要員雇用確保の促進等に取り組むことについて共通認識を図った。 国際線受入れWGにおいて、航空会社の復便等の事業計画を前広に入手し、円滑に復便再開・新規就航できるよう関係機関との調整を行っている。</p>	
<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港会社と連携し、空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	
<p>【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進</p>	<p>空港会社とも連携し、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業を事業者を紹介するなど、補助金制度の活用を推進した。</p>	